

平成二十九年一月一日

祈願祭に当たり 神が信者に説かれたお言葉

神 示

迎えた新たな年の課題を教えん

夫婦 家族で 神の館に出入りし

神示「真理」を家族で学び 我が家に生かす努力をする

この思いが深まる家庭は

必ず家族一人一人の心を引き上げ 会話のある環境に身を置くことがかなう

欲心に染まり 人生に迷いを深める姿が人間

人生の姿に悟りを開かずして 人間は必ず悩み 苦しむもの

知識が先行し 姿 形にのみ価値を見る現代にあつて

神は「教え」に生きる意味を 今こそ信者に伝えてゆく

供丸姫 供丸斎 使者二方の存在と「教え」の導きによって

今日 日本は世界に 調和して生きる国として映っている

時代 環境の変化は ますます大きく現れ 社会環境の動向も激しく流れる

そして 調和の時代へと流れを変えて 環境は安定してゆく

時代の変化にのみ込まれぬように

真理なき不実の社会に染まらぬように

神が与えた運命に導かれた人生が歩めるように

信者は家族で「教え」を学び 我が家に生かす心を持つ時

世界は「真理」を共有し 眞実 眞理に「生きる」時代へと 移り変わろうとしている

変化の中で 徐々に世界は 調和して「生きる」姿へと戻つてゆく

神 示

—— 会話のある家庭に 人間の心は磨かれ 夢ある人生を歩んでゆける ——

神示教会に家族で出入りし 家族で「教え」を学ぶほど

家族の心は重なり 神の守りも大きい

神 示

—— 「真理」に生きて 人の心は磨かれてゆく ——

悔いなき人生 手にする極意を悟りて

迎えた年も 神示「真理」を心の支えに「生きる」信者であれ

家族で「教え」を学ぶほど その家は 神の手の中 守られ 栄えてゆく